

手軽にコンテンツ管理

エニーステム株式会社（川口市）

今までにない新発想の多目的双方向デジタルサイネージの試作開発

街頭や店舗、イベント会場などで様々なコンテンツを表示し、活躍するデジタルサイネージ（電子看板）。デジタル技術を活用した情報・広告媒体として注目を集め、総務省が「2020年に向けたデジタルサイネージに関する取組」という報告書をまとめるなど、社会をICT化していく上で担う期待も大きい。

エニーステム社は、デジタルサイネージを稼働させる独自の管理ソフトウェアを開発した。従来、コンテンツはサイネージメーカーの仕様に合わせなければならなかったが、同社の管理ソフトは共通プラットフォームでメーカーの枠を超え稼働することを実現した。また、プロジェクトなど、どんな表示デバイスにも表示できる。



写真左のサイネージ端末に表示するコンテンツをパソコン画面から手軽に管理できる

情報提供者は、管理ソフトのアプリケーション画面を通じてコンテンツをインターネット上に配信。クラウドから指令を受けた各端末（サイネージ）がネット上のコンテンツを探して映し出す。ホームページやチラシ、ポスター、動画などを複数の端末に一斉表示したり、個別に表示したり

りすることが可能。サーバーにコンテンツを保存しなくともいいためサーバーにかかる負荷も軽く、セキュリティやバックアップの心配もない。

さらにユーチューブ動画をコンテンツとして取り込むこともできる。サイネージに映すための加工を施す必要がなく、コスト減にもつながるこの技術の応用で、スマートフォンへ配信できる「スマホサイネージ」

を開発した。

同社製のデジタルサイネージ「MultiKIS（マルチキッス）」は、実証実験を川口市役所本庁舎と鳩ヶ谷庁舎、川口そごう、ウエスタ川越の4カ所で実施。今年7月には特許を取得している。



新価値創造展エニーステム 川口市役所本庁舎 鳩ヶ谷庁舎 川口そごう ウエスタ川越

「エニーステム株式会社」

■本社 川口市西川口1の26の4

■代表者 代表取締役 秋野欣正

■設立 2014年4月

■資本金 1000万円

■従業員数 4人

■電話番号 048(430)7221

「メモ」創業時は受託ソフト開発が主体だったが、現在は自社ブランドを展開。自社ブランドの一つ、統合介護支援システム「b'nass」は販売代理店を募集中。